

《どうでもいい話、その 605》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

前にもありましたが「モテ日」という日が何年かに一度やってきて、その日は何人かからモテます。今回は、子供にモテました。先日夕方散歩に出かけ、公園の横の道を通ると公園から小学生2～3年生くらいの女の子二人が寄ってきて「いま何時ですか？」と聞きます。「4時35分だよ。もう家に帰る時間かな？」と答えると「もう少し遊びます。ありがとうございます」と言いました公園に戻り遊びました。この頃は学校でも家でも“知らない人に声をかけられても相手にしない”と教えられています。それが向こうから声をかけてきました。それから10分ほど歩くと今度はランドセルを背負った男の子が声をかけてきました。「おじさん、どこへいくの？」と言うので、「散歩で多井畑神社まで歩いていくんだよ。何年生？」と聞くと「4年生」と答え、それから放課後サッカーをやっていたこと、朝の通学は近所の〇〇君と行く、兄弟の話、1年生の時に今の場所に引っ越してきたことなどを10分間ほど話し「ぼくの家はあそこ」と別れました。そして帰りに細い道の出口でまた声をかけられました。「こんにちは！今日は暑いですね。散歩ですか？」60年ぐらい前の女の子でした。

岩波より